

2013年5月

整形外科人工関節術前患者への口腔内診察を開始

人工関節の手術は細菌の感染が起こらないよう注意が必要です。むし歯や歯周病の原因菌が術後の感染源になる率が高いため、手術前に歯科医師が口の状態をチェックする取り組みを始めました。また、術後の肺炎予防を目的とした、歯科衛生士によるブラッシング指導も実施しています。

2013年11月

清掃ボランティアで
新芦城クリニック周辺・小松駅前を清掃

芦城クリニック新築移転に伴い、これまでお世話になった大文字町・旧芦城クリニック周辺、土居原町・新芦城クリニック周辺を職員有志が清掃しました。



▲小松駅前を心をこめて清掃

2013年12月

勝木保次博士像を芦城公園に移設

勝木保次博士は芦城クリニック勝木道夫名誉院長の叔父で、脳の聴覚機能を研究し、文化勲章を受章。初代 北陸体力科学研究所所長。小松市名誉市民、石川県名誉県民であり、人文・自然などで学業成績優秀な中学生に贈られる勝木賞を創設しました。長らく、当院の中庭に設置していた同氏の像を小松市に寄贈し、芦城公園に移設されました。



▲和田慎司小松市長、平成24年度勝木賞受賞者、勝木満子常務

2014年1月

S-1g優秀賞獲得「加賀野菜たっぷり旬カレー」

栄養部は、地域の特産品を生かしたおいしい減塩食レシピを発掘する「S-1g大会」(国立循環器病研究センター主催)最終選考に出場し、調理と審査員の試食、プレゼンテーションによる審査が行われました。JA小松市のイメージキャラクター「こまとちゃん」も応援に駆けつけ、小松の地産地消をテーマにしたカレーを存分にアピールをした結果、全国355点の応募の中で選考を通過した24点に入り、優秀賞をいただきました。



▲糖尿病の方でも食べられる減塩カレー

2013年5月

「訪問看護ステーションリハケア芦城」を芦城クリニック内に開設

事業所名変更

「訪問看護ステーションほのぼの」→「訪問看護ステーションリハケアやわた」

「ほのぼのヘルパーステーション」→「ヘルパーステーションやわた」

基本理念

あなたの健康が私たちの願いです。

～ Your Wellness is our dearest wish ～

世界中の人々が、お互い健康で、幸せをわかちあえるために私たちは日夜努力をつづけます。あなたのお心と身体と環境を満足のゆく状態にするお手伝いをどうか私たちにさせてください。

※Wellness: ウェルネスとは身も心も、家庭や地域、環境もイキイキ、はつらつとしていること。また、そうあるよう日々こころがけ、行動すること。意気軒昂、前向きに、主体的に生きる、がキーワード。

基本姿勢

人を信じ、人を大切にします。

相手を信じ、自分を信じ、お互いに信頼しあう姿勢を基に、その個性や人格を大切に、自らの最大限の力量を持ってサービスに当たることが、私たちの基本姿勢です。そのために、自らの健康・教養・品位・技術を高める努力を惜しみません。

芦城クリニック リニューアルオープン

小松市大文字町で47年にわたり診療してまいりました「芦城クリニック」は、2013年12月、JR小松駅前(=土居原町)に新築移転しました。

整形外科診療に内科を加え、医療・介護・健康増進サービスを一体化して提供できるクリニックとして、地域住民の健康増進や疾病治療、在宅生活の支援に努めます。

建物のコンセプトは「モダン町屋」。外観は歌舞伎のまち小松に残る昔ながらの町屋をイメージしつつ、電子カルテなど最新の医療設備を整え、医療情報のネットワーク化を実現し、多職種によるチーム医療を展開しています。

また、院内には絵画や写真などの愛好家が作品を展示するコミュニティギャラリー、外にはアートキャンバスを設

置し、「健康」をキーワードに地域の皆さまの心がつながる場所を目指します。

なお、11月にこまつ芸術劇場うららで開催したオープン記念講演会ならびに内覧会にはたくさんの方々にお運びいただき、心より御礼を申し上げます。

院長 勝木 建一

〒923-8552 石川県小松市土居原町175番地

TEL0761-23-0011 FAX0761-23-3641

※住所は変更となりましたが、電話番号はこれまでと同じです。



CONTENTS

- 芦城クリニック リニューアルオープン
- やわたメディカルセンター ダイアリー
- トピックス

- 1 受付
- 2 芦城居宅介護支援事業所、丸内・芦城高齢者総合相談センター
- 3 コミュニティギャラリー
- 4 勝木建一院長

やわたメディカルセンター ダイアリー

新たに導入した
医療機器をご紹介します!

2012

12月

カプセル内視鏡検査(消化器)を開始

小腸内視鏡検査の苦痛を軽減

2013

3月

眼科でOCT(光干渉断層計)を導入

緑内障などの眼病が早期発見可能

4月

消化器内視鏡システムの更新

デュアルフォーカスやNBIなど新機能搭載でがんなどの微小病変の早期発見に活躍



小松産タケノコご飯(地産地消の取り組み)▲

地産地消こだわり献立で小松産 タケノコご飯を入院患者様に提供

その他、小松産トマトカレーや加賀生麩のおすましなど積極的に地元の特産品を取り入れています。

5月

病室備え付け棚を一新

カギ付き引き出しやコンセントもついて使いやすくなりました。

オプション検査「睡眠時無呼吸症候群 簡易検査」を開始(健診センター)

睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome: SAS)は、一晩(7時間)の睡眠中に10秒以上の無呼吸が30回以上、または、睡眠1時間あたりの無呼吸数や低呼吸数が5回以上起こる状態をいいます。寝ている間の呼吸状態や血中の酸素値、身体の動き、脈拍数などから睡眠時無呼吸症候群の有無を調べます。就寝時に検査機器を取り付けて、起床時に外すだけの痛みのない検査です。

SASは高血圧や糖尿病などの生活習慣病や動脈硬化を招き、それらを重症化させることがわかっています。

7月

みのり倶楽部みつや 半日デイサービスを開始

8月

健診センターで「キャンセル待ちサービス」を開始

健診希望日の予約がいっぱいだった場合に、空きがでたら優先的にご連絡するシステムです。

- 10分程度の、苦痛が少ない検査です。
- 大腸内視鏡の挿入が困難な方でも検査が容易にできます。
- 大腸内だけでなく肝臓や腎臓などもCTで撮影できます。
- 鎮痛剤が不要で、検査後の車の運転などに制限がありません。

10月

オプション検査「大腸3D-CT検査」を開始(健診センター)

大腸に炭酸ガスを注入して拡張させ、マルチスライスCTで撮影します。内視鏡検査のような画像や大腸の3D画像が得られ、内視鏡検査よりも苦痛が少なく短時間でできる大腸検査です。5mm未満の小さなポリープなどが判別しにくい点や、組織の採取ができないため異常があった場合は大腸内視鏡検査を受ける必要があるなど注意すべき点もありますが、今まで一度も大腸の検査を受けたことがない方にはおすすめの検査です。

12月

SPECT CT稼働

臓器の機能を調べるRI検査と融合し、画像診断精度が向上

カプセル小腸内視鏡検査

小腸は狭く、曲がりくねっていて、長い臓器です。そのため、挿入型の検査が難しい臓器ですが、この「飲むだけ」のカプセル内視鏡で小腸の検査ができるようになりました。

カプセルは、LEDフラッシュランプ、CCDカメラ、無線装置を内蔵。カプセルが小腸を通過しながら画像を2枚/1秒の間隔で撮影して、腹部に装着したデータレコーダーに無線で転送します。カプセルが小腸を通過すると、撮影は終了です。その後、腹部に装着したデータレコーダーを取り外し、専用のコンピュータで得た画像で医師が診断します。

検査の手順

センサーやデータを収集する装具を装着し、下剤を服用(①②)

下剤服用30分後、水とともにカプセル内視鏡を飲み、帰宅(③)

カプセル服用2時間後から、水分摂取可能

水・お茶・スポーツドリンクなど(量の制限ありません)

カプセル服用4時間後から、軽い食事ができます

うどん・そばなどの消化のよい食事やお薬の服用も可能です

カプセル服用8時間後に検査終了

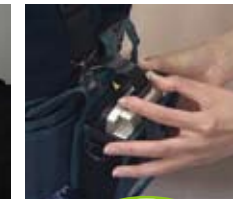
翌日、検査機器をはずして病院に返却

約3日後に排泄されたカプセル内視鏡をご返却ください

①センサーアレイ貼付



②データレコーダー取付



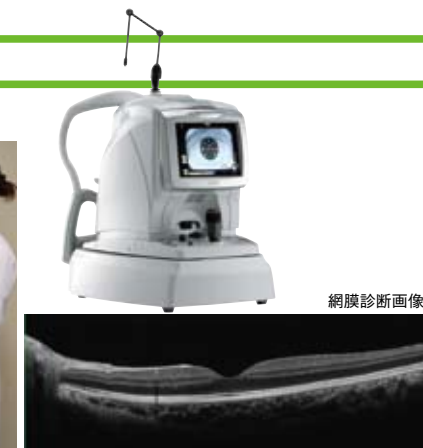
③カプセル内視鏡嚥下



実物大
長さ26mm×幅11mm

OCT(光干渉断層計)

網膜や視神経の断面を撮影する眼の検査装置です。網膜の状態を3次元画像で撮影でき、網膜の疾患や緑内障の診断、経過観察、早期発見に非常に有用です。病体の大きさ、位置、形状、分布等を把握することで、診断精度が向上します。検査は装置をのぞくだけで、短時間で終了するので痛みやまぶしさ、目の疲れはほとんどありません。



網膜診断画像▼

検査対象の疾患

黄斑円孔

黄斑・網膜前膜

加齢黄斑変性

糖尿病黄斑浮腫

漿液性網膜剥離

網膜剥離 など

こんなところが 今までと違う!

消化器内視鏡システム(更新)

内視鏡は、外からでは分からない食道や胃、大腸などの臓器の状態や病変を、身体の内部から直接観察できる医療機器です。最新型の内視鏡システムで診断の精度を上げ、検査時間の短縮、挿入の苦痛などの患者様の負担を軽減します。



1 ハイクオリティな画質

従来のシステムをさらに上回るハイクオリティ画質のスコップを取り入れ、画像の鮮明さが飛躍的に向上。細かい血管や粘膜の表面などもよりリアルに見ることが出来ます。

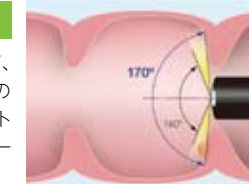
3 デュアルフォーカス

広い範囲を観察しながら、動いている臓器にも簡単にピントを合わせる事ができるようになり、疑わしい部分に近づけて、瞬時に拡大観察でき、病変の早期発見と検査時間の短縮に威力を発揮します。



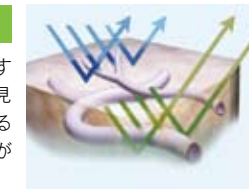
2 ワイドアングル

140℃だった大腸スコープの視野が、170℃に拡張。腸の壁に隠れた病変の発見に威力を発揮します。また、ライトを3つ搭載し視野が明るくなり、スピーディに観察できます。



4 早期がん発見のための光(NBI)

特殊な光を当てて、粘膜表面に発生する血管新生や粘膜微細模様に見える見えにくい変化(病気の予兆)を見つけることができ、早期がんかどうかの判断がしやすくなります。



スペクト(SPECT) CT

RI(核医学検査)とCTが一緒になった装置を導入しました。64列マルチスライスCTと協働し、南加賀地域の二次救急医療に貢献します。RI検査とCT検査を同時に行えるため、精度のよい画像診断ができるようになりました。



RI検査 目的部位の機能(血流量や代謝など)を調べる

CT検査 形態(形、位置、大きさなど)を調べる

特に、骨転移や腫瘍、肺梗塞(肺の動脈が詰まる疾患)の検査に力を発揮します。また画質の向上、解析ソフトも充実され、従来から行っている認知症や脳梗塞を診断する脳血流検査や虚血性心疾患における心臓の検査にも有用です。